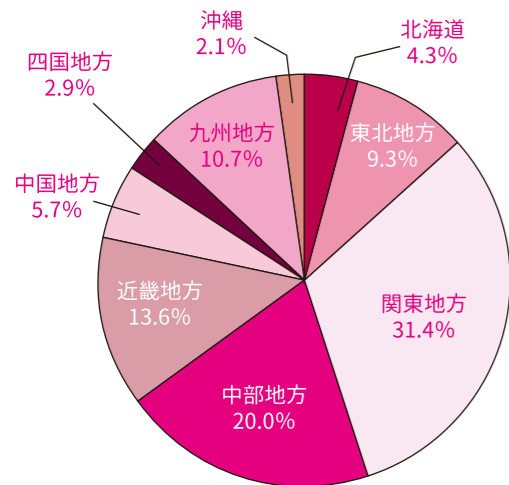


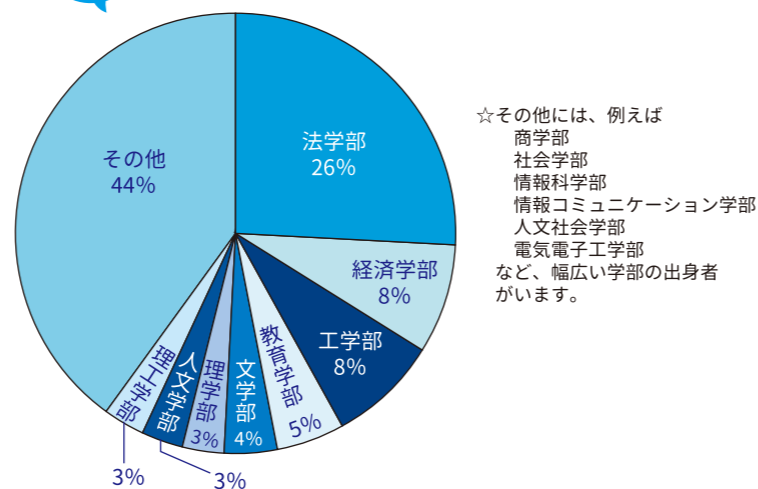


新規採用職員アンケート

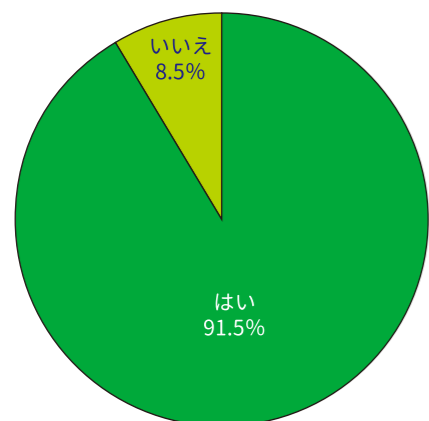
Q1 出身地はどこですか？



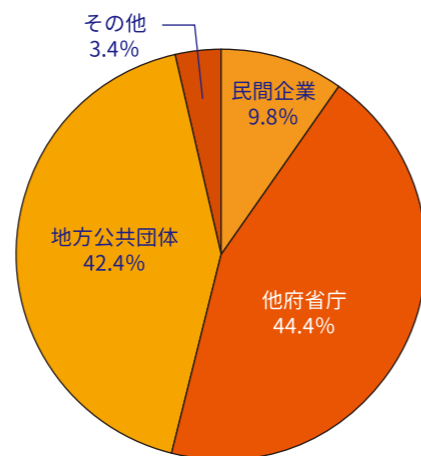
Q2 大学の出身学部を教えてください



Q3 就職先を選ぶ際、総務省以外の選択肢は考えましたか？



「はい」と答えた方



Q4 就職先を選ぶ際、重視したものは何ですか？

- 仕事に情熱を注げるかどうかです。
- 目的意識を持って仕事に取り組み続けられる環境であるか、という点です。
- やりたいこと、興味を持てる仕事ができるかどうかを考えました。
- 日々の暮らしや生活に密着したものが良いと思っていました。
- 自分がやりたいと思うものがそこにあるか、そして、そこで働く人の雰囲気です。
- 誰の役に立てる仕事か、誰のために働きたいか、ということを考えて選びました。
- どこ（場所・地域）で働くか、何をしたいか、どちらを優先するのか、どちらを取るのか。迷うところではあると思いますが、私は自分のしたいことを最も優先しました。
- 学んできた知識を生かすような仕事ができるかどうかです。
- ①人の役に立ること②自分の知らない世界であること③続けられることです。

Q6 総務省の魅力は何だと思いますか？

- 所掌業務の一つ一つが国民の暮らしと密接に関わっていることだと思います。
- 業務の幅が広く、ミクロ的なものからマクロ的なものまで行っており、興味のあるものが1個は必ずあるところです。
- チームの団結力だと思います。
- 「暮らしの中に総務省」というキャッチフレーズは、まさに総務省を言い表した言葉だと思います。何気ないところに関わっているものの陰ながら国民をサポートしていることが魅力だと思います。
- 同期が多いこと（色々な専攻の同期がいること）です。
- 国の機関でありながら、地方自治や現場の声と密接に関わる仕事ができることだと考えています。
- 日々進歩する業務に携わることができるので、新しいことにチャレンジすることができるのが魅力だと思います。

Q8 どのような総務省職員を目指しますか？

- 様々なことにアンテナを張り、柔軟に活躍できるような職員を目指します。
- 誇りを持って仕事に取り組むことのできる職員を目指します。
- 多くの知識を吸収し、あらゆる場面に対応できる職員を目指します。
- 初心を忘れず、国民目線で職務に励む職員でありたいと思います。
- 自分の得意な分野を積極的に伸ばせるようになりたいです。
- どんなことにもチャレンジして、何でもオールマイティにこなす職員になりたいです。
- 学び吸収する気持ちを持ち、目の前の業務に励みたいです。
- 仕事に対しても真剣に向き合う職員を目指します。

Q5 なぜ、総務省を選んだのですか？

- 業務説明会や官庁訪問で出会ったどの職員の方も仕事に対する熱い思いを語っていて、魅力的に感じたからです。
- 元々、地方の問題に関心があり、総務省の手がける業務がその解決に寄ることができると感じたからです。
- ICTに興味があり、公務員としてICTに携わることができる省庁だったからです。
- 自分の専門知識を生かせる場が多いと感じたからです。最終的に決め手となったのは職員の方々の人柄です。
- 学部や院、前職で関わってきた統計を使って仕事をしてみたかったからです。
- 幅広い政策に携わることができ、様々な知識を身につけ仕事に生かしていく働き方に魅力を感じたからです。
- 情報通信関係について大学でかじったこともあって、興味があったためです。また、東日本大震災時にラジオに救われたので、電波環境を守る仕事をしたいと思ったためです。

Q7 官庁訪問のアドバイスはありますか？

- 自分の中でゆるがない信念を持つことが大事だと思います。
- 元気さ、素直さ、明確な回答が必要です。
- 官庁訪問は「こちらから職員の様子を伺える場」です。気になることは何でも質問してみましょう！
- 疑問に思っていることを職員の方に素直に聞くことが大切だと思います。
- 面接は緊張すると思いますが、楽しんで臨むことが大事だと思います。元気よく話す、相手にもちゃんと伝わると思っています。第一印象も重要です。
- 進路で悩むのは当然。たくさん悩んで、調べて、選択してください。
- 文字だけを見ずに、実際に働いている方の生の声を聴いてみてください。はじめは興味なくても、やってみたいと思える仕事に巡りあえるかもしれません。私はそうでした。

Q9 最後に、総務省を目指す方へメッセージをお願いします。

- 総務省には、日本が直面する課題に対して解決策を講じるためのツールがたくさんあります。そして、それだけ様々な部署に配属される可能性にあふれています。ぜひ、より多くの職員と会って話を聞き、自分が総務省で働いている姿を具体的にイメージしてほしいと思います。
- 総務省で行っている一つ一つの施策は、一朝一夕で成り立つものではありません。実現に向けて根気強く解決策を模索し、力を尽くし続けることが大切です。ともに職員として、その実現に向けて走りましょう。
- 自分の興味のある業務、適していると思える業務がきっと見つかるはず。ぜひ見つけて、私たちと一緒に働きましょう。
- 総務省には一緒に働きたいと思う上司や同期、やってみようと思える仕事が見つかると思います。一緒に働くことを楽しみにしています！
- 日々変化する社会情勢に目を向ける姿勢が重要だと思います。
- まずは色々なところを見て、自分が何をしたいのか自分自身と向き合ってください。